



活躍の現場から



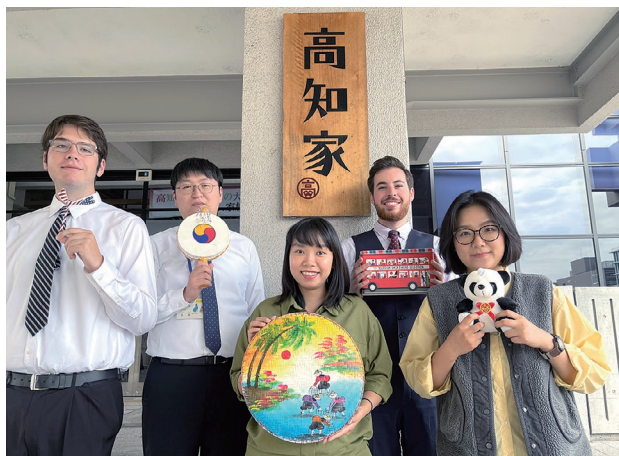
多方面で活躍を見せる国際交流員 ～各国と高知の懸け橋として～
高知県文化生活部文化国際課

高知県内の JET プログラム参加者

高知県内には現在、132 人の JET 参加者（JET プログラム：語学指導等を行う外国青年招致事業）が配置されており、ALT（外国語指導助手）が 114 人、CIR（国際交流員）が 18 人います。それぞれの市町村で活躍を見せるほか、東西に長くて広い高知県において JET 参加者が孤立しないよう、PA（取りまとめ団体アドバイザー）や RA（ブロック代表）として活動を行っている JET 参加者もいます。

高知県の国際交流員

文化国際課では現在、韓国（2021 年 9 月～）、中国（2022 年 5 月～）、アメリカ（2023 年 7 月～）、イギリス（2023 年 8 月～）、ベトナム（2023 年 10 月～）出身の計 5 人の CIR が配置されています。5 カ国からやってきた皆さんの活躍は、高知県の国際交流において大きな役割を果たしています。



文化国際課の CIR（左からジェイコブさん、李さん、リンさん、ジェームズさん、王さん）

CIR のみなさんの活動

CIR の業務は多岐にわたり、通訳・翻訳業務、姉妹・友好提携都市との連絡や調整、海外からの訪問団対応と

いった行政に関わるものや、県内の学校へ出向いて行う出前授業、自国文化を紹介するイベントの開催といった県民に向けたものなどさまざまです。

①韓国出身 CIR 李（イ）さん



全羅南道山林研究院訪問時の様子（右が李さん）

高知県は 2016 年に韓国全羅南道と姉妹交流協定を締結しています。そのため、李さんは両道県の交流に関する業務を数多く担っています。コロナ禍の 2021 年から配置され、対面での交流が思うようにできなかった時期もありましたが、そのような中においても、高知と韓国の絆を絶やすまいと奮闘してくれました。

②中国出身 CIR 王（おう）さん



四万十市 CIR 蔣さんとの 1 枚（右が王さん）

王さんはこれまで、日本でも人気のある三国志を題材に、魏・蜀・呉をシリーズ化した「三国志で中国を知ろう」という講座を開催してきました。高知市での開催時に参加者から「中国へ行ってみたい」「中国文化を紹介する講座をもっと開いてほしい」といった声を頂いたため、今年7月には四万十市でも開催し、好評を博しました。

③アメリカ出身 CIR ジェイコブさん



テレビ高知「からふる」で取り上げられた知事表敬の様子
(中央がジェイコブさん)

ジェイコブさんは、ミクロネシア連邦からの訪問団が高知県を訪れた際、通訳として病院や防災施設などの視察に同行しました。また、シミナ大統領の知事表敬時の懇談にも同席してくれました。大統領の通訳というプレッシャーの大きな業務でしたが、事前準備を欠かさなかったことで大いに活躍し、高知とミクロネシアの交流に深く貢献しました。

④イギリス出身 CIR ジェームズさん



トンガ王国首相の知事表敬時
(中央がジェームズさん/トンガ王国大使館提供)

ジェームズさんは、2023年8月に着任して間もない頃から、各国の首相や大臣、大使の知事表敬時の通訳として活躍を見せてくれました。また、PAの業務も担ってくれているため、多忙なスケジュールをこなしていくのは大変ですが、高知と各国の懸け橋となり、さまざまな分野において情報交換を円滑に進めるうえで大きな役割を果たしています。

⑤ベトナム出身 CIR リンさん



リンさんによる「ベトナム語チャレンジ」の様子

高知県内の外国人労働者のうち、最も多いのがベトナム出身の労働者です。リンさんは、そんなベトナム人と高知県民がもっと交流できる場を設けたいと考え、「ベトナム語チャレンジ」という講座を開催しました。ベトナム語の発音や文法について分かりやすく学べることから、講座は大いに盛り上がりしました。

今後の国際交流における CIR の存在

CIRの皆さんの活躍は、高知県の国際交流においてとても大きな存在です。県内在住の在留外国人の数は年々増加しており、多文化共生への関心も非常に高くなっています。

CIRの皆さんは、そういった在留外国人の立場に立って、どのようなことに困っているのか、どういった情報を提供すべきかを考えることができます。それは、CIR自身が遠い母国からはるばる日本へやってきて、不安や心細さを感じた経験をしているからなのです。

文化国際課として、CIRの活躍の場をさらに広げていくことこそが、高知県の国際交流をより広く深く発展させることにつながると信じています。これからも、高知県と各国とをつなぐ懸け橋として活躍してくれることを願っています。